

# 隠れ教育費

公立小中学校でかかるお金を

徹底検証

当たり前まえて思ってたお金の

学校のへモノとへコトにかかる費用。

でも、それってほんとうに当たりまえ？

——現状は、変えられる！

4つの視点で解き明かす

実態

いつ、何に、いくらかかる？  
具体的な場面ごとに  
保護者負担金を総ざらい

歴史

なぜ、こうなったのか  
いまに至る経緯と背景

理念

何が問題なのか  
本来どうあるべきか

対策

だれもが納得できる  
費用負担のかたちとは？  
保護者と学校ができること



学校指定品  
補助教材  
消耗品  
部活動  
学校給食  
旅行と行事

柳澤靖明 著  
Yanagisawa Yasuaki  
福嶋尚子 著  
Fukushima Shoko

膨大なアイテムの入学準備品、  
教科書よりずっと多い補助教材、  
親もへトへト部活動、  
いくらかかっても  
全員参加の修学旅行、  
なぜか生徒の側が学校に贈る  
卒業記念品……

定価●本体 1800 円+税 四六判・256 ページ / ISBN978-4-8118-0837-6

## 「義務教育は無償」の原則はどこに?—— 小・中の9年間で支払う保護者負担金の すべてを「見える」化してみよう

おもな目次

序章 義務教育は無償、ではない!?

学校のモノとお金

### 第1章 こんなものまで学校指定品

- 実態 頭のとっぺんからつま先まで指定品づくめ
- 歴史 エリートの象徴から管理のツールへ
- 理念 なんのための指定品か
- 対策 どの指定品を残すのか

### 第2章 増えつづける補助教材

- 実態 教科書よりずっと多い、私費購入の補助教材
- 歴史 公費保障の試みと挫折
- 理念 教材費無償 VS 受益者負担
- 対策 「個人持ち」の必要性を見直す

### 第3章 だれが消耗品を用意するのか

- 実態 家庭からの供出と徴収金が頼り
- 歴史 工業化にともなう学校消耗品の変化
- 理念 私費負担・持参品が消えない理由
- 対策 公費化にむけた「見える」化と、脱・一律負担

資料編 学校のモノとコト 私費負担カレンダー

学校のコトとお金

### 第4章 部活動のつきかさなる負担

- 実態 部活動費の会計は複雑怪奇
- 歴史 くりかえされる部活動の過熱化
- 理念 「自主参加の習い事」が公立学校にある意味とは
- 対策 部活動費の透明化と負担減

### 第5章 学校給食は福祉か教育か

- 実態 集金袋方式から公会計へ
- 歴史 貧困救済から食育へ
- 理念 給食無償化は、どうすれば可能になるか
- 対策 公会計化は無償化へのステップ

### 第6章 有無をいわさぬ旅行と行事

- 実態 修学旅行と卒業準備はさいごの大出費
- 歴史 軍事訓練から、全員参加の観光旅行へ
- 理念 参加の強制が家庭に何をもたらしているか
- 対策 教育目的にあった実施方法を

終章 「受益者負担」は正当か

#### 柳澤靖明 (やなぎさわ やすあき)



学校事務職員。小学校で7年、中学校で11年勤務し、現在、川口市立小谷場中学校学校事務主査。「事務職員の仕事を外に開く」をモットーに、事務室だよりなどを通じて教職員・保護者・子ども・地域へ情報を発信。就学援助制度の周知や保護者負担金の撤廃に向けて取り組む。著書に『本当の学校事務の話をしよう』（小社刊、2016年日本教育事務学会学術研究賞）、共著に『保護者負担金がよくわかる本』『増補改訂 つくろう! 事務だより』（ともに学事出版）など。

#### 福嶋尚子 (ふくしま しょうこ)



教育学研究者。千葉工業大学教育センター助教。新潟大学教育学研究科修士課程、東京大学教育学博士課程を経て現職。博士（教育学）。「学校の自治」「公教育の無償性」の実現などをキーワードに、教材教具整備・財務にかかわる学校基準政策、学校評価・チーム学校等の学校経営改革などについて、現代的視点と歴史的視点の両面から研究。共著に『公教育の無償性を実現する』（大月書店）、『新版教育課程論のフロンティア』（晃洋書房）など。